

【 特別公開講座 】

日本の演劇をマッピング/ ザッピングする

—グローバルティと演劇—

東京大学大学院教授・演劇評論家
内野 儀

~~~~~

日 時：7月11日（金）

16時～18時

場 所：岡山大学創立五十周年記念館  
会議室（2階）

対象者：学生、教職員、一般の方

受講料：無料（申込の必要はなし）

お問い合わせ：外国語教育センター 阿部 251-8519

~~~~~

外国語教育センター主催

1997年の新国立劇場の開場、それと前後して整備された公的助成金制度等の影響下、日本の現代演劇はきわめて多様な展開を見せている。それを現代演劇の〈公式文化化〉と呼べる。だがしかし、

それは演劇というメディアの社会的位置をいかなるものへと変容させたか？

21世紀に入ってから、規律社会から管理社会へという私たちの「生活」における社会関係の劇的変化のなか、身体表現を一つの基軸とする演劇に、私たちは何を見出すことができるか？

今回の公開講座では、上記のような問いを念頭に置き、欧米のみならず、アジアの現代演劇の現状を参照しつつ、具体的な映像を交えて、日本の現代演劇についての理論的な視座からのマッピング/ザッピングの作業を行いたいと考える。

—— 内野 儀（東京大学大学院）